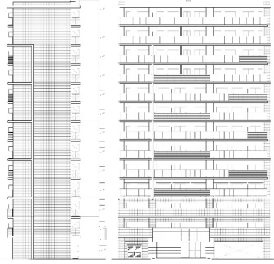


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)プレサンス東大阪長田西四	階数	地上13階
建設地	大阪府東大阪市長田西	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、防火地域	平均居住人員	88人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,100時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2024年3月1日
敷地面積	538㎡	作成者	楽総合計画 吉田
建築面積	258㎡	確認日	2024年3月1日
延床面積	2,436㎡	確認者	楽総合計画 吉田



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.6** ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.2

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.3

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 2.9

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	建物の維持管理のし易さ、長寿命化、省エネルギー性能の確保、地域景観への配慮	その他 特になし
Q1 室内環境	遮音等級T-2のサッシを採用し、室内環境へ配慮した。	Q2 サービス性能 耐用年数の長い配管材を採用し建物の長寿命化に配慮している。
Q3 室外環境(敷地内)		敷地内にできる限り緑地を設置した。
LR1 エネルギー	LED照明を使用する等、エネルギーへ配慮した。	LR2 資源・マテリアル 節水型便器等を採用し、水資源を保護している。また、躯体と仕上材が容易に分別可能であり、内装材と設備との錯綜を回避し、部材の再利用の可能性を高めている。
		LR3 敷地外環境 適切な量の自転車及び駐車場の確保

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府の重点評価(結果)

【建物概要】	建物名称	(仮称)プレサンス東大阪市長田西四丁目マンション 新築工事					
	建設地	東大阪市長田西					
	用途/区分	集合住宅					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B-	
①	CO2削減					3	
②	みどり・ヒート アイランド対策					1	
③	建物の断熱性					3	
④	エネルギー削減					3	
⑤	自然エネルギー直接利用					○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告	対象外
-------------	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.0	3
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	1
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価	1.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価	2.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	3
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.4	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		